

玉里地区小中一貫教育学校

【第8号】

建設準備委員会だより



このたよりは、玉里地区の小中一貫校の開校に向けた準備の情報をお届けするものです。今号では、第8回建設準備委員会の様子をお送りします。

第8回建設準備委員会を開催

11月1日(火)に第8回建設準備委員会を開催しました。今回の委員会では、以下のことについて協議を行いました。

【議事内容】

- (1) アンケート集計結果について
- (2) 玉里地区小中一貫校(仮称)基本構想について



アンケート集計結果について

基本構想の協議の参考にするために実施したアンケートの集計結果が示され、確認を行いました。アンケート調査に多くの方のご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果の詳細は市HPをご覧ください。

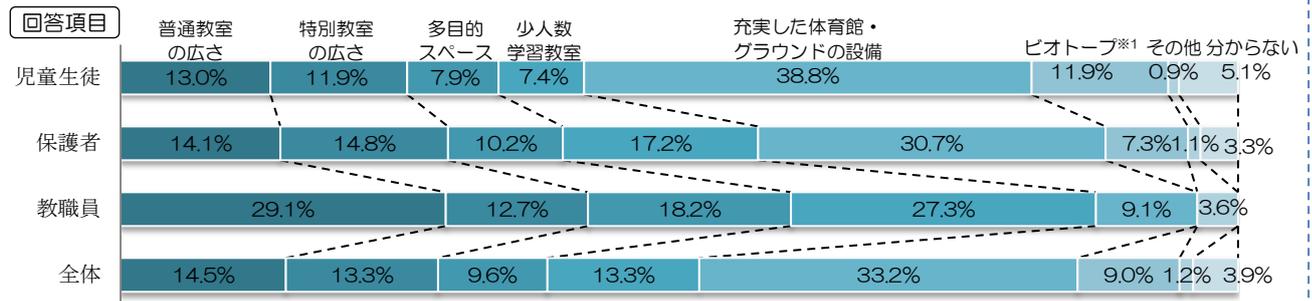
新しい学校づくりのためのアンケート調査結果概要

調査期間：平成28年10月6日(木)～10月13日(木)
 調査対象：①保護者(玉里地区小中学校、幼稚園・保育園)
 ②玉里地区小中学校の教職員
 ③児童生徒(玉里地区小中学校の小学3～6年生、中学生)
 回収状況：配布数 1391 回答数 938

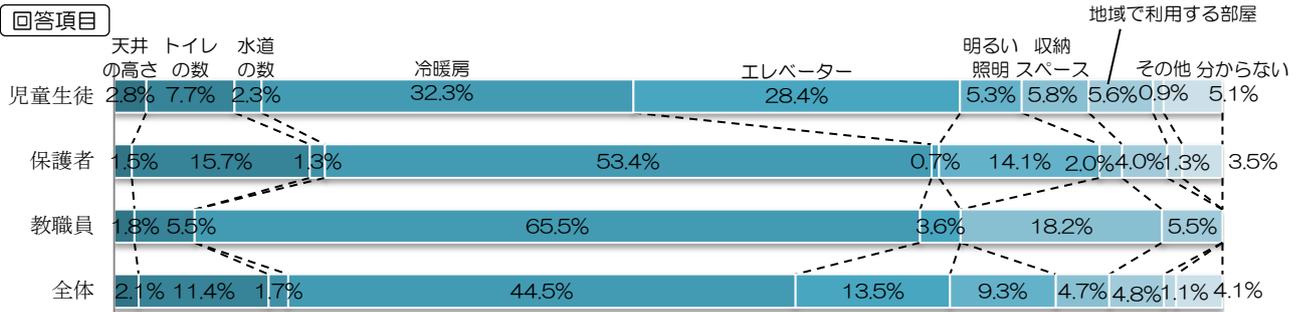
○主な集計結果

新しい学校施設にあった方が良いと思うもの

<ア. 学習に関わるもの>

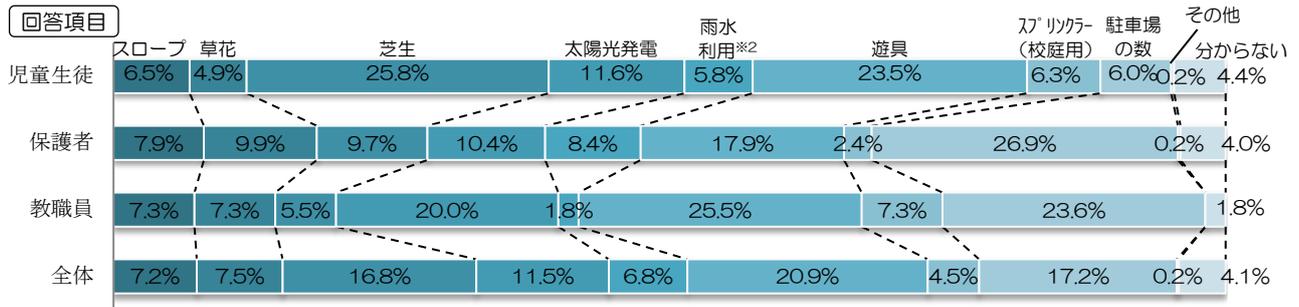


<イ. 学校環境、校舎内に関するもの>

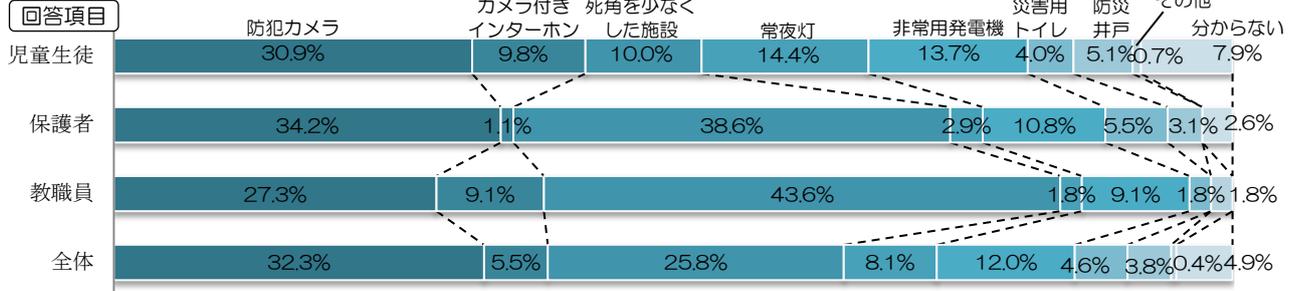


＜ウ. 学校環境・校舎外に関するもの＞

※2 雨水を貯めて、トイレの流し水やグラウンドの散水に利用すること。



＜エ. その他＞



○主な意見

委員 児童生徒、教職員、保護者でそれぞれ意識の差が出た調査結果となっている。このアンケート結果から、どのようにまとめ、実際の学校づくりにどういった形で繋げていくのか。

設計事務所 これから目標を定め、その目標に沿って施設を構成していくように考えている。全てを盛り込めるかは別な話になってくるが、アンケートを参考にし、進めていきたい。

事務局 どのようにまとめていくかは、委員に積極的な意見交換等をしていただき、詰めていければと考えている。違った視点で回答をいただいているところもあるかと思うので、それを含め、準備委員会の中で意見を出し合い、基本構想に役立てていきたいと考えている。

委員 いじめの問題等の関係かと思われるが、アンケート結果では防犯カメラの設置という意見が多い。そればかりに頼るのではなく、目の行き届きやすい建物にするといった青写真はあるのか。

設計事務所 近年、つくば市やつくばみらい市で校舎が建設されているが、死角をなくすようなストレート型の校舎が最近の学校建築となっている。

委員長 確かに死角が少ないことは非常に大事なことだと思うが、建物だけでなく、教職員の子も達への指導や動き等が大きな関わりがあると思う。施設と教職員の指導が一体となって対処しなくてはならないと思う。

委員 視察に行った成田市の下総みどり学園は、既存校舎に新しい校舎を繋げた学校だった。校舎間に段差があるなど、使い勝手が悪いように私は感じた。もし、既存校舎を使うのであれば、それはそれで良いと思うが、段差や階段で繋ぐ形にならないような設計をしてほしいと思う。

玉里小中一貫校(仮称)基本構想について

玉里小中一貫校(仮称)基本構想に盛り込む「基本構想策定の背景」、「玉里地区における小中一貫教育の計画」の案が示され、確認を行いました。

○全体の構成及びスケジュール



※議事録は、市のホームページ(以下のURL)で公開しています。
http://city.omitama.lg.jp/8106.html



今回の建設準備委員会は、日程が決定次第、市のホームページでお知らせします。委員会は自由に傍聴できますので、詳細は事務局までお問い合わせください。

発行：玉里地区小中一貫教育学校建設準備委員会

(事務局) 小美玉市教育委員会
施設整備課 学校づくり推進係
〒311-3423 小美玉市小川4-11
電話 0299-48-1111 (内線2212・2216・2217)
Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp